

ごあいさつ



代表理事組合長
渡邊 健彦

平素より、JAめぐみの各事業に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

農業を取り巻く環境は、異常気象や高齢化、担い手不足や資材価格の高止まりなど、依然として厳しい状況が続いています。国においては農政の基本理念や政策の方向性を示す「食料・農業・農村基本法」が制定から四半世紀を経て令和6年5月に改正され、食料安全保障の確保が基本理念に位置づけられるとともに、食料の合理的な価格形成が明記されるなど、日本の農業政策が大きな転換期を迎えることとなりました。

こうした環境の中、令和6年度は第7次中期経営計画の最終年度として、「対話を通じた農業・地域・JAの未来づくり」の基本方針のもと、3つの基本目標「持続可能な農業の実現」「食」「農」「暮らし」を通じた地域活性化への貢献「自己改革を支える経営基盤強化」の目標達成を見据えて取組を進めて参りました。

「持続可能な農業の実現」では、産地育成を目指した東白川トマト選果場選果機更新及び建屋改修工事を進め令和7年3月に竣工し令和7年度からの生産拡大に繋げていきます。さらに農業のDX化に積極的に取り組み、デジタル地図と農業用ドローンを活用した農薬散布や集荷作業のデジタル化などを行いました。

「食」「農」「暮らし」を通じた地域活性化への貢献では、支店ふれあい委員の皆様から頂戴したご意見・ご要望を支店運営に取り入れるとともに、支店ふれあい感謝デーでは多くの組合員・地元農家の方や地域の皆様に参加いただき、地域に求められる支店づくりに取り組みました。

「自己改革を支える経営基盤強化」では、「支店再構築構想」に基づき、統括店舗を中心としたエリア完結型の事業運営へ機能見直しを行い、各種相談機能の強化及び専門的なより良いサービスの提供を目指しました。今回新たに「和知支店」を「八百津支店」に統合し、新たな「八百津支店」として新築オープンいたしました。

迎えた令和7年度は、第8次中期経営計画の初年度となります。基本方針として定めた「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力の発揮」に向け、主要農産物の生産・販売強化による「次世代につなぐ持続可能な農業の実現」、地産地消の促進と協同活動の実践による「食と農と暮らしを支える仲間づくりによる地域活性化への貢献」、持続可能な総合事業戦略の高度化による「持続可能な総合事業経営のための経営基盤強化」を重点に、新たなステージに向かって「JAめぐみ」は役職員一同邁進して参ります。

今後とも、一層のご支援と事業活動への参画をお願いするとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和7年7月